

杉村ひろしは これからも こうしたい！

よく歩き、皆様の意見を聞かせていただきます

○これは、杉村ひろしの、議員活動の基本です。これができなくなるのであれば、議員の立場を去るべきだと考えています。路上や各種の集い、呼びかけなど、お気軽に、声掛けをお願いします。各種の集まりに参加させていただいた折には、基本的に、最後まで、参加者の方と共に時間を共有することに努めます。

皆様のご意見をお伺いしたうえで、自分の知識や信念に基づき、活動し、岩美町議論のオピニオンリーダーを目指します。

具体的には、引き続いて、町内各地域の行政懇談会参加や、活動通信誌「モルゲンロート」を年2回、本人配布で、原則町内全所帯にお届けします。

風通しのよいまちにします

○町議会のみえる化、臨場感のある情報公開

4年の間でできなかった議会改革の協議を開始し、町議会の情報公開を進め、臨場感があり、主権者として実感を持っていただけるものといたします。

そうすることで、町政の方向を決める町議会の議論を、町民の皆様の身近に引き寄せます。

○町行政のみえる化、住民目線の情報公開

町行政が、議会に提出した資料の公開や、決算資料の内容を、町民の皆様に、わかりやすいような記載とし、誰でもどこでも閲覧可能を目指します。

帰ってきてよかったまちにします

○高規格道路の時代を本格的に迎えた岩美町のまちづくりと交通安全が第一
高速移動できる環境となり、利便の向上と、交通環境の変化に伴う交通弱者への配慮が必要です。そして、町外などから、IC付近への居住が増えています。利便性を求める方への土地情報の提供や、まちづくりを進めます。

○水産業、農業、商工業、観光業、土木建設業、運送業などの振興が、町政発展の鍵。

産業再生のない、地域再生はあり得ません。沖合底引き網漁船の代船建造に、町独自の対策を付加すべきです。陸上養殖事業は伸長させ、商工業、観光業は、アニメ活用での観光客増への促進を図り、町内事業者の独自商品の販売促進、町内宿泊者増を促進させます。ジオパーク推進は、自然探勝路の脆弱性を補完する代替路線の整備に努めます。カヤックなどの体験事業の促進を図り、自立した産業への進展を進めます。鳥獣被害は、まず人命が大事であります。そのうえで農業被害防止に努めます。

住んでよかったまちにします

討議資料

○ごみ出しの簡便化。旧焼却場（浦富地内坊谷）に建設されたストックヤード（ごみの一時保管場所）の、直接持ち込みなど、利便性の向上を図ります。

○税負担の軽減。国民健康保険税の軽減を目指します。

○バス路線の改変。高規格道路（岩美道路など）の利用など、乗客減少やそれに伴うバス運営会社の路線変更見込を踏まえ、利便性の維持・活用に努めます。

町政に変化をもたらせました（H26～30）

○シーカヤックのルール策定と周知看板を設置しました。

○県道改良（役場前等）の促進を図りました。

○町道前田線の改良促進を進めました。

○町道前田線周辺（町浦富大清水町内あたり）の冠水対策を進めました。

○網代新港内の陸上養殖用の井戸掘削予算執行を促進しました。

○地震対策として、補助率の引き上げ、住宅への耐震シェルターへの補助を制度に組み込みました。

○雪害対策を町民に見える計画としました。

○公共下水道と集落排水を統合しようとする行政の姿勢をあきらかにしました。

○全ての会計原則が依って立つ「真实性の原則」に基づき、町の決算の基本的な認識を指摘し、誤りを質しました。

○町有地（旧岩井軌道跡地＝岩美駅東側）の財産削除に反対し、再計上としました。

○議会改革の協議再開を複数回主張しました。

○アニメ関連で、いわとび祭りの継続を訴えました。

杉村ひろし後援会事務所 岩美町浦富1690-1 Tel0857-72-0981

（背景写真は、浦富第一海水浴場向島の朝焼けです。

向島は東西に離れていて、その間は4mほどの水深で、

小中学生の時に、潜って遊ばせていただきました。

砂底に石を抱いて座り、見上げる水面の美しいきらめきは、忘れられません。）

学歴・職歴等

浦富小学校、岩美中学校、鳥取東高等学校(専攻科含む)
東京都内で朝日新聞奨学生(朝夕刊220軒配達・集金及び拡張)
亜細亜大学法学部(4年時中途退学)
昭和58年4月 岩美町役場奉職 税務課、総務課(給与、町税)
平成7年7月 生活環境課交通政策係長(公共交通、交通安全)
平成12年4月 財務課収税係長
(国道178号改良計画策定に参画、詳細は著書「歩道できました?」)
平成16年4月 上下水道課水道係長(下水道事業に伴う水道施設改修)
平成18年4月 地域整備課課長補佐兼町土整備係長
平成20年4月 文化センター 総務課課長補佐兼隣保館指導主事
平成21年4月 上下水道課課長補佐兼計画調整係長
平成22年4月 環境水道課課長補佐兼計画調整係長
平成23年4月 環境水道課長 (河川工事による水道濁水対応)
(東北大震災の被災地、岩手県宮古市田老の万里の長城とも呼ばれた
防潮堤のありさまを現地確認。宮城県石巻市で土砂撤去ボランティア)
平成24年4月 商工観光課長 (ジオパーク利用の推進、
古い民家を現代美術とコラボレーション、アニメ活用事業開始)
平成26年3月 岩美町役場退職 55歳
同年7月 岩美町議会議員当選、現在に至る
(年2回通信誌配布等により、町民の声を直接聞く)
(熊本地震被災地へ、熊本県益城町で瓦礫撤去等ボランティア)

現在の役職 町浦富中町町内会納税組合長(昭和60年～)

著書……「歩道できました?」

座右の銘…「肥担桶も担ぐが、論語も読む」

「将来を嘱望して、現状の発展を怠ること勿れ」

人生観……「明日のことはわからない。いつ終わりになるかわからない

人生、恥ずかしくないよう、正直に生きたい。」

趣味……山歩き、自転車、薪作り

杉村ひろし 紹介

討議資料

氏名 杉村 宏(すぎむら ひろし)

昭和33年(西暦1958年)11月生、年齢 満59歳

住所 岩美町大字浦富1690番地1

家族 母、妻、長男、長女

政治信条

サイレント・マジョリティ、
声が小さくとも、多数者を大切にしたい。

ラウド・マイノリティ
(声の大きい少数派や利害関係者・既得権益者)の意見に、
引きずられるのではなく、

全ての町民にとって、最適な選択をしたい。

それが、議会・行政が、本来行うべき取り組みです。
だからこそ、お一人お一人のご意見が大事であり、
皆様のご意見をお聞きしたいのです。